

## 昭和学院短期大学 DX 推進基本計画

昭和学院短期大学は情報環境の進展に即した教育を行うために、2016年度に ICT 教育センターを設立し、5か年計画及び各年度の事業計画に ICT 事業を含めて参りました。

今後ますますデジタル技術を活用した教育・研究・支援事業などの要請が高まることが予想されることを踏まえて、新たに DX 推進基本計画として策定することといたしました。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
施設・設備の整備	← LAN 改修工事 →				
	←————— メディア室 LL 施設計画準備更新 —————→				
	←————— 学内 WiFi 環境整備 —————→				
	←————— 教室の ICT 機器整備更新 —————→				
図書館	←————— OPAC システムの運営と新規システム準備			←————— 図書館新規システム	
	←————— 国会図書館とデジタル化資料送信サービス申請 —————→				
教職員を対象とした技術支援・教育支援体制	ICT 教育センターの業務として規程に明記している。 LAN の運用、オンライン授業、OFFICE365、Teams の活用、 アンケート・テスト等での Forms 利用、学内コンピュータの管理等 ICT 技術・教育支援				
情報セキュリティ対策	必要に応じて規程等を整備し、周知徹底を図る。現在主要な規程等は下記である。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティ対策基本方針</li> <li>・情報セキュリティ対策基本規程</li> <li>・無線 LAN 利用規程</li> <li>・学生個人情報保護適正管理に関する措置</li> <li>・昭和学院短期大学附属図書館規程</li> <li>・情報セキュリティインシデント対応手順</li> <li>・コンピュータシステム利用規程</li> <li>・学生個人情報保護要項</li> <li>・昭和学院短期大学特別館管理・使用規程</li> </ul>				
全学的なチェック体制	教育改革委員会において年 2 回以上 DX による教育の質的転換支援として実施する取組について協議する 2021 年度 6 回、2022 年度 5 回協議、2023 年度 6 回協議				
事業計画	←————— 昭和学院短期大学 5 か年計画 —————→				
	←————— DX 推進基本計画 —————→				
教務システム (DX による学習者本位の学修の実現)	←————— 成績管理 —————→				
	←————— 学習成果の可視化 (自己評価及び教師の評価) —————→				
	←————— 成績、学習成果に基づく学生との面談の実施 (全学生と個別面談を年 3 回以上) —————→				
	←————— 学修成果について各学科。専攻で検討し、短期大学としてまとめた結果を教授会で報告する。 カリキュラム編成の検討事項のひとつとして取り上げ、 IR を活用したカリキュラム編成として教授会で報告する。 —————→				
DX による学習者本位の の実現に向けた指標 アウトプット	学生の学修計画に係るアドバイスの 1 年間の実施数 達成：全ての学生に年 2 回以上 概ね達成：9 割以上の学生に達成 未達成：9 割未満の学生に達成				
DX による学習者本位の の実現に向けた指標 アウトカム (4 以上)	達成 (4.4、4.3)	達成 (4.2、4.3)	達成 (4.4、4.4)		
取組と指標の妥当性に 関する評価体制 (外部評価)	自己点検・評価報告書に関する外部評価委員会				
	学修成果の妥当性 と 学生の満足度評価	学修成果の妥当性 と 学生の満足度評価	学修成果の妥当性 と 学生の満足度評価		

他大学等に対する取組の普及活動 大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム	第1回共同FD研修会—数理データサイエンス・AI教育の推進—佐藤智広企画・司会	大学コンソーシアム市川—オンライン授業に関する意識調査報告会 澤本恭子報告	大学コンソーシアム市川共同FD研修会「きめ細かな教育における学修成果とDXの活用」守田麻由子報告予定9月25日～10月10日オンデマンド	大学コンソーシアム市川共同FD研修会「卒業時の平均学生満足度～各大学の状況とその要因～」本学長内恭子9月10か～17日オンデマンド(wifi、ICT設備の満足度含む)	
産業界、地域社会等に対する取組の発信活動・意見聴取			DXによる保育支援のために保育関係者に向けてICTを活用した講座開設(8月から募集、9月末開講) 市川市、産業界、弁護士と本学教員とで取組について意見交換をした。(7月)	「スマート保育所を実現する保育士リスクリテラシー教育推進事業」6月～12月開講。ダイビック社野呂代表取締役と意見交換。受講生の意見は12月聴取予定	
Webの活用	← e-ラーニング →				
	← 入試(募集から合格通知、入学前課題まで) →				
	← 大学公式のLINE、SNS、Instagram、Twitter、You Tubeの活用 →				
	← オンラインオープンキャンパス、オンライン面接等 →				
	← 各種証明書の発行 →				
	← 事務手続き、資料等のペーパーレス化 →				
認証制度	← 数理データサイエンス・AIプログラム認定(文部科学省) →				
各学科専攻	キャリア創造専攻	学生一人1台のSurface Go2(遠隔授業補助金)を活用した教育推進			
		ビジネス実務、ビジネス英語、アパレルコンピュータ演習、ITパスポート	新規:WEBデザイン	新規:WEBデザインB、プログラミング、ハイブリッドトータルファッション	
	こども発達専攻	保育内容総論にロボット・プログラミング導入	幼児プログラミングでソニーと連携	新規:ソニーとの連携科目	
		オンラインを活用した科目等履修生制度	スマート保育所実現のためのリスクリテラシー講座(補助金)		
	ヘルスケア栄養学科	オンラインを活用した科目等履修生制度	栄養士関連科目について授業方法に制約があるため、教養科目、学修成果分析等で活用する		